

11/30 第10回日本太鼓ジュニアコンクール
群馬県大会

11月30日、標記大会が甘楽町文化会館にて開催され、今年で設立20周年となる上州高山いぶき太鼓ジュニアチーム(高校生以下)が新たな挑戦として出場しました。

初出場であることや他チームのレベルの高さに圧倒され、村内でのイベント時よりも一段と緊張していましたが、日頃の練習の成果が発揮され、準優勝することができました。

結果発表の時は第3位に他チームが入賞し、いぶき太鼓の選手・保護者・関係者全員が「入賞はできないかもしれない。」と思っていたらしく、準優勝の発表で「上州高山いぶき太鼓!」と呼ばれた時は全員で歓声をあげ、感動のあまり涙を流して喜んでいました。

今回の大会に出場したことで、新たに全国大会出場という目標ができ、今後のより一層の活躍に期待したいと思います。

選手・保護者・関係者のみなさん、大変お疲れ様でした。



11/3 第9回高山かるた

11月3日(文化の日)に第9回高山かるた大会が行われました。高山小学校児童88名が各地区の代表として、低学年の部(4年生以下)・高学年の部(5・6年生)・混合の部(全学年)の3部門で競い合い熱戦を繰り広げました。各部門の優勝チームは次の通りです。

低学年の部	優勝：原Aチーム 準優勝：原Bチーム 3位：北之谷チーム
高学年の部	優勝：本宿Bチーム 準優勝：北之谷チーム 3位：原Bチーム
混合の部	優勝：原Bチーム 準優勝：五領Aチーム 3位：新田チーム

高山かるたを通して参加した小学生は、楽しみ競い合う中で高山村の良さや歴史を学ぶことができた大会でした。当日運営に協力していただきました、各子ども会・青少年の方々に感謝申し上げます。



また、パース専門学校では、囲碁大会や陶芸教室、介護関係の体験、公開講座、献血等盛りだくさんの文化祭でした。
中でもジャズダンスの公演は人気があり、大勢の人が訪れていました。



11/16~18

高山村文化祭

高山村文化祭が11月16日(土)~18日(月)の3日間の作品展を中心に、いぶき会館と今回は群馬パース福祉専門学校が共催ということで「パース祭」を17日に開催し、2会場で盛大に開催されました。
いぶき会館では、大正琴、コーラス、民謡、フラダンス、カラオケ等の合同発表会が開催された他、ならの木読書会の読み聞かせや役原獅子の公演もありました。

11/23

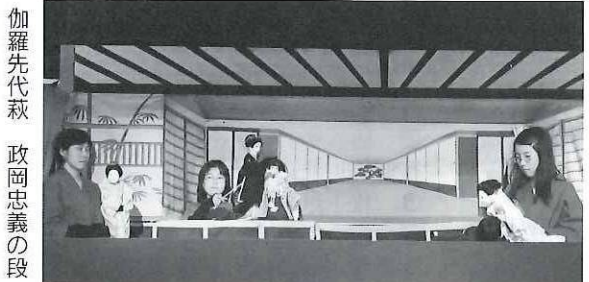
「尻高人形芝居」 ー第14回定期公演ー ー人形芝居教室発表会ー

国選択無形民俗文化財、群馬県指定重要無形文化財である尻高人形芝居の第14回定期公演及び伝統芸能教室の発表会が、11月23日、西地区屋内ゲートボール場併設舞台において開催されました。

始めに小学6年生5人による伝統芸能教室で行われた、「伽羅先代萩 政岡忠義の段」の発表がありました。次に座員の義太夫教室が開催され、「傾城阿波鳴門 順礼歌の段」の成果が発表されました。義太夫を若月座長親子の太夫で語られました。

最後に錦松会座員による「日高川入相花王渡し場の段」が上演されました。清姫が大蛇に姿を変え日高川を渡る様に迫力を感じました。

今回、伝統芸能教室に参加希望した齊藤瑠里さんは初代「錦松会」の座長を務めた山田与平さんの6代目にあたり、巡り合わせというか不思議な縁を感じま

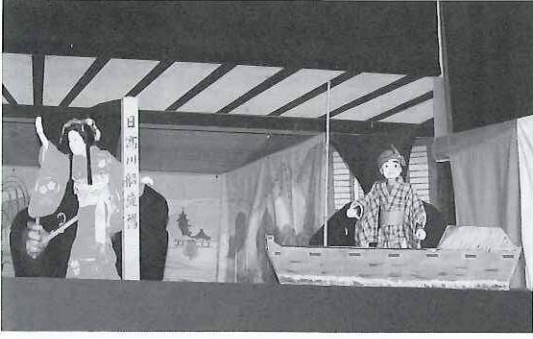


伽羅先代萩 政岡忠義の段

したと座員の方が語ってくれました。

また、現在座長を務めている若月眺さんは、長女の真由美さんと親子共演の初舞台で「巡礼歌の段」の義太夫を披露していただきました。

当日は、村内外の皆様多数のご観覧を頂き有り難うございました。今後とも、尻高人形芝居の保存伝承のためにご理解とご支援をお願いいたします。



日高川入相花王 渡し場の段



傾城阿波鳴門 順礼歌の段

1948年（昭和23年）12月10日、国際連合は第3回総会で「世界人権宣言」を採択しました。国連は「世界人権宣言」の採択を記念して毎年12月10日を「人権デー」と定め、加盟国に記念行事を実施するよう呼びかけています。法務省と全国人権擁護委員連合会では、12月4日から10日の人権デーを最終日とする一週間を「人権週間」として全国的な啓発活動を実施しています。

前橋地方法務局中之条支局と中之条人権擁護委員協議会では、吾妻教育事務所と共催し、人権週間に合わせて「あがつま人権フェスタ」全国中学生人権作文コンテスト吾妻地区大会表彰式を開催しました。人権講演会では「子どもたちを守るために、大人にできること」と題して、NPO法人遊び塾 代表の秦 健二さんが講演を行い、その後「表彰式」が行われ、高山中学校からは、3年生の林 恵美さん、2年生の齊藤亜美さん、1年生の後藤未来さんが表彰されました。全国中学生人権作文コンテストは次代を担う中学生が人権問題について作文を書くことにより、人権尊重の重要性と必要性についての理解を深めるとともに、豊かな人権感覚を身につけることを目的として昭和56年から毎年行われています。3名の中学生のみなさんおめでとございました。



12/8

「あがつま人権フェスタ」 が開催